

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 5 区分

【発行日】平成 19 年 11 月 29 日 (2007.11.29)

【公表番号】特表 2007-510583 (P2007-510583A)

【公表日】平成 19 年 4 月 26 日 (2007.4.26)

【年通号数】公開・登録公報 2007-016

【出願番号】特願 2006-538771 (P2006-538771)

【国際特許分類】

**B 6 0 C 17/04 (2006.01)**

**B 6 0 C 17/06 (2006.01)**

【F I】

B 6 0 C 17/04 B

B 6 0 C 17/06

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 10 月 15 日 (2007.10.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

車両に装着されたタイヤ (7) 内のリム (6) に取り付けられていて、インフレーション圧力が失われた場合に前記タイヤのトレッドを支持するようになった安全支持体 (100, 200, 300, 400, 500, 600, 700, 800, 900, 950, 960, 970, 980) であって、

- 前記リムの周りに装着されるようになった実質的に円筒形のベース (102, 962) と、

- 圧力が失われた場合に前記トレッドに接触するようになっていて、定格圧力では前記トレッドに対して隙間を空ける実質的に円筒形のクラウン (103, 983) と、

- 前記ベースと前記クラウンを連結する環状本体 (104, 204, 404, 504, 804, 904) とを有し、前記支持体は、少なくとも一部が、複数の環状区分 (10, 20, 40, 45, 50, 60, 65, 70, 80, 90, 95) を軸方向に組み立てることによって作られ、前記環状区分の各々は、周囲にわたって規則的に分布して設けられた状態で、前記環状本体の少なくとも一部上を延びる実質的に軸方向の向きの連結壁 (15, 22, 42, 47, 48, 52, 62, 63, 69, 72, 73, 82, 94, 98, 99, 691, 692, 971, 972) を有し、該連結壁は、前記環状区分を軸方向に組み立てるために隣接の環状区分の連結壁と協働するようになっている、支持体。

【請求項 2】

前記連結壁 (15, 22, 42, 47, 48, 52, 62, 63, 69, 72, 73, 82, 94, 98, 99, 691, 692, 971, 972) は、前記環状本体の少なくとも一部上に半径方向に延びる、請求項 1 記載の安全支持体。

【請求項 3】

前記連結壁 (692) は、前記環状本体の少なくとも一部上に円周方向に延びる、請求項 1 又は 2 記載の安全支持体。

【請求項 4】

前記環状区分のうち少なくとも 1 つ (10, 20, 40, 45, 50, 60, 65, 70, 80) は、前記支持体の前記環状本体の高さ位置に配置されていて、前記支持体の前

記ベースと前記クラウンとの間に半径方向に延びて円周方向に連続した支持要素を形成する仕切り（１６，２１，４１，５１，６１，６８，７１，８１）を有する、請求項１～３のうちいずれか一に記載の安全支持体。

【請求項５】

少なくとも１つの環状区分（１０，２０，４０，４５，５０）の前記仕切り（１６，２１，４１，５１，８１）は、ドッグレッグ線の形態の支持要素を構成している、請求項４記載の安全支持体（１００，２００，３００，４００，５００，８００）。

【請求項６】

少なくとも２つの環状区分の前記ドッグレッグ線の各仕切り（１６，２１，４１，５１）は、前記環状区分（１０，４０，４５，５０）の組立て後に、ハニカムの形態をしたセル（１０６，３０５，３０６，４０５，５０５）を構成するよう連結壁（１５，２２，４２，４７，４８，５２）によって実質的に軸方向に延長されている、請求項５記載の安全支持体（１００，２００，３００，４００，５００）。

【請求項７】

前記連結壁（１５，５２）の少なくとも一部の長さは、少なくとも１つの環状区分（１０，４５，５０）について、前記ドッグレッグ線の仕切り（１５，５１）の長さ１の半分に実質的に等しい、請求項６記載の安全支持体（１００，３００，５００）。

【請求項８】

少なくとも２つの環状区分（６０，６５，７０）の前記仕切り（６１，６８，７１）は、前記環状区分（６０，６５，７０）の組立て後に矩形の形態のセル（６０１，７０１）を構成するよう円周方向ウェブの形態の支持要素を形成している、請求項４記載の安全支持体（６００，７００）。

【請求項９】

少なくとも１つの環状区分（７０）の前記仕切り（７１）は、前記円周方向ウェブの各側で交互に配置された連結壁（７２，７３）を有する、請求項８記載の安全支持体（７００）。

【請求項１０】

少なくとも１つの環状区分（８０）の前記仕切り（８１）は、正弦波線の形態をした支持要素を形成する、請求項４記載の安全支持体（８００）。

【請求項１１】

前記環状区分のうち少なくとも１つ（９０，９５）は、前記支持体の前記環状本体（９０４）の高さ位置で半径方向に配置されていて、円周方向に不連続の支持要素を形成している仕切り（９１，９６）を有する、請求項１～３のうちいずれか一に記載の安全支持体（９００，９５０，９６０，９７０，９８０）。

【請求項１２】

前記環状区分のうち少なくとも２つ（９０，９５）は、組立て後、シェブロン形態をした支持要素（９０５，９５１，９６１）を有する前記支持体の環状本体（９０４）を構成するよう軸方向に傾斜した半径方向仕切り（９１，９６）を有する、請求項１１記載の安全支持体（９００，９５０，９６０，９７０，９８０）。

【請求項１３】

少なくとも１つの環状区分の各仕切りは、少なくとも一方の側で軸方向に、連結壁（９４，９６）により軸方向に延長されている、請求項１２記載の安全支持体（９００，９５０，９６０，９７０，９８０）。

【請求項１４】

少なくとも１つの環状区分（９５）の仕切り（９６）の各軸方向端部は、少なくとも一方の側で軸方向に、前記連結壁（９８）を構成している、請求項１２記載の安全支持体（９５０）。

【請求項１５】

前記環状区分のうち少なくとも１つ（１０，２０，８０）は、円周方向に連続したクラウン（１３）を有する、請求項１～１４のうちいずれか一に記載の安全支持体（１００，

200, 800)。

【請求項16】

前記環状区分のうち少なくとも1つは、円周方向に不連続のクラウン(983)を有する、請求項1～14のうちいずれかーに記載の安全支持体(980)。

【請求項17】

前記環状区分(10)の連結壁(15)は、前記環状区分(10)の前記クラウン(13)の高さ位置で半径方向に終端している、請求項15又は16記載の安全支持体(100)。

【請求項18】

前記クラウン(103)は、前記支持体の前記環状区分(10, 80)の仕切り(16, 81)に対して軸方向且つ円周方向にオフセットした切欠き(105, 807)を有する、請求項15～17のうちいずれかーに記載の安全支持体(100, 800)。

【請求項19】

前記環状区分のうち少なくとも1つ(10)は、円周方向に連続したベース(12, 962)を有する、請求項1～18のうちいずれかーに記載の安全支持体(100, 960)。

【請求項20】

前記支持体の前記ベースは、遠心力に抵抗する手段を有する、請求項19記載の安全支持体。

【請求項21】

前記環状区分の各々は、遠心力に抵抗する前記手段の一部を構成する、請求項20記載の安全支持体。

【請求項22】

前記環状区分は、接着により互いに組み立てられている、請求項1～21のうちいずれかーに記載の安全支持体(960)。

【請求項23】

前記環状区分(20)は、熱可塑性エラストマーで作られ、鏡像溶接により互いに組み立てられている、請求項1～21のうちいずれかーに記載の安全支持体(200)。

【請求項24】

前記環状区分は、熱可塑性エラストマーで作られていて、超音波溶接により互いに組み立てられている、請求項1～21のうちいずれかーに記載の安全支持体。

【請求項25】

前記環状区分は、前記連結壁の機械的クリップ留めによって互いに組み立てられている、請求項1～21のうちいずれかーに記載の安全支持体(970)。

【請求項26】

組立て後に前記支持体の軸方向外部寄りに配置された前記環状区分は、単一の軸方向側にのみ設けられた連結壁を有する、請求項1～25のうちいずれかーに記載の安全支持体。

【請求項27】

前記支持体の軸方向外部寄りに配置された前記環状区分は、他の環状区分を構成する材料の剛性よりも高い剛性の材料で作られている、請求項1～26のうちいずれかーに記載の安全支持体。

【請求項28】

前記環状区分のうち少なくとも1つは、環状区分の1組のセグメント(9)の組立てにより作られる、請求項1～27のうちいずれかーに記載の安全支持体。

【請求項29】

前記環状区分の前記セグメントの個数は、2～30である、請求項28記載の安全支持体。

【請求項30】

前記環状区分の前記個数は、2～14である、請求項1～29のうちいずれかーに記載

の安全支持体。